



田村 宏 略 歴

大正12年横須賀生、昭和18年東京音楽学校ピアノ科卒、月岡忠三、永井進氏に師事、当時から梶原完、園田高弘と並んで新進三羽鳥といわれ、28年渡欧、ウィーンのコンセルバトールに学び30年帰国。帰国後東京交響楽団、東フィル、日フィル等の定期演奏会にソリストとして出演するなど華々しい活躍をはじめた。

以来リサイタル、放送のほか、プロムジカ弦楽四重奏団と協演するなど、室内楽にも意欲を示し、そのレパートリーは、モーツアルト、ベートーベンといった古典から現代までに及び、とくに古典と現代を得意としている。わが国第1線の演奏家として、全国各地労音に出演、好評を博している。現在、芸大助教授として教育の面でも活躍、毎日音楽コンクールピアノ部門審査員の要職もかねている。